

## 群馬県内におけるヒシバツタ類の分布(予報)

金杉隆雄 県立ぐんま昆虫の森

ヒシバツタは、バツタ目ヒシバツタ科に属する体長 10 ミリ前後の小型のバツタ類である。翅型は長翅型から短翅型までさまざまであるが、前翅は常に短く退化している。体色は主に茶褐色～灰褐色系の色彩をしているが、同一種内でも色彩や斑紋の変異が多い。

一般に草地や林縁に生息していることが多いが、河川沿いの砂地や溪流の岩場などに生息している種類もいる。

世界から 9 亜科 180 属 900 種が知られ、日本には 4 亜科 16 属 38 種が分布している。群馬県内からは 2 亜科 5 属 8 種が記録されており、赤城山には固有種とされるアカギヒシバツタが生息している。

しかしながら、群馬県内におけるヒシバツタ類の記録は少なく、その分布状況は明らかではない。そこで 2012 年の県内各地における野外調査の結果及びぐんま昆虫の森、自然史博物館の収蔵標本を調査した結果から、群馬県内のヒシバツタ類のうち、コバネヒシバツタ属、ヒシバツタ属の種について、これまでに判明した分布の概要について報告する。

### 群馬県内から記録のあるヒシバツタ類リスト

ヒシバツタ科 Family Tetrigidae RAMBUR, 1839

トゲヒシバツタ亜科 Subfamily Scelimeninae BOLIVAR, 1887

トゲヒシバツタ属 Genus *Coriotettix* BOLIVAR, 1887

トゲヒシバツタ *C. japonicus* (DE HAAN, 1843)

河川敷や水田周辺など湿地に生息。

分布：北海道(石狩平野以南)、本州、四国、九州、対馬?、種子島

ヒシバツタ亜科 Subfamily Tetriginae HANCOCK, 1906

ハネナガヒシバツタ属 Genus *Euparatettix* HANCOCK, 1904

ハネナガヒシバツタ *E. insularis* BEY-BIENKO, 1951

平地の裸地や草地に生息。湿地を好む。

分布：本州、四国、九州、奄美大島

ニセハネナガヒシバツタ属 Genus *Ergatettix* KIRBY, 1887

ニセハネナガヒシバツタ *E. dorsifer* (WALKER, 1871)

河原の砂地など湿った裸地に生息。

分布：北海道、本州、四国、九州

コバネヒシバツタ属 *Formosatettix* TINKHAM, 1937

**コバネヒシバツタ** *F. larvatus* BEY-BIENKO, 1951

林床や林縁に生息。ホクリクコバネヒシバツタとの混成地は確認されていない。

分布：本州、四国、九州、対馬

**ホクリクコバネヒシバツタ** *F. niigataensis* STROZHENKO et ICHIKAWA, 1993

多雪地帯の林縁に生息。コバネヒシバツタ比べて林縁に接したやや明るい草地にも進出する傾向がある。群馬県 RDB(2012年改訂版)では情報不足となっている。

分布：本州(青森、秋田、山形、新潟、福島、栃木、群馬、長野、富山、岐阜、石川)

ヒシバツタ属 *Tetrix* LATREILLE, [1803]

**ハラヒシバツタ** *T. japonicum* BOLIVAR, (1887)

明るい草地や裸地に普通。

分布：北海道、本州、佐渡島、伊豆大島、四国、九州

**アズマモリヒシバツタ** *T. kantoensis* UCHIDA et ICHIKAWA, 1999

林縁の地表に生息。

分布：本州(新潟、福島、栃木、茨城、群馬、埼玉、長野、山梨)

**アカギヒシバツタ** *T. akagiensis* UCHIDA et ICHIKAWA, 1999

乾燥した草地や裸地、ササ原など開けた環境に生息。群馬県 RDB(2012年改訂版)では情報不足となっている。

分布：本州(群馬県赤城山)



#### 参考文献

日本直翅類学会編(2006) バツタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会.

村井貴史・伊藤ふくお(2011) バツタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑. 北海道大学出版会.